

冬休み！お子さんと読書で季節を感じてみませんか？

冬休みがやってきました！

冬休みの時期は、この季節ならではの行事があり、何かと忙しい季節です。



クリスマス、年末の大掃除、そしてお正月――

準備がたくさんありますし、お子さんもお手伝いで忙しくなるかもしれません。

でも、寒い中がんばったら、ほんの少し時間を見つけて、暖かい場所で、お子さんと一緒に読書で休憩してみませんか。

12月といえば**クリスマス**！クリスマスの本をご紹介します。

■クリスマスの物語■

サンタクロースが出てくる絵本を読むのもいいし、クリスマスの雰囲気溢れる本を読むのも素敵です。

例)「**クリスマスわくわくサンタの日!**」
(ますだゆうこ/作 文溪堂 2009.11)

ページ数の多い本に挑戦するなら・・・

例)「**クリスマス・キャロル 角川つばさ文庫**」
(ティケンス/作 KADOKAWA 2013.11)



さて、読書、といっても、物語を読むだけではありません。

わからないことを調べたり、「**やってみたい!**」を実現する方法を教えてください、本は経験のための第一歩をくれます。

大人は知っていて当たり前、なんとなく知っているから疑問にも思わなかった、そんな普通のことが子どもにとっては不思議なこと。子どもにとって、世界は知らないことで溢れています。

■そもそもクリスマスってなに？■

例)『クリスマスってなあに?』(ジョン・G.ロビンソン/文・絵 岩波書店 2012.11)

■クリスマスにお菓子を作りたい!■

例)『おだんご先生のおいしい!手づくり和菓子 冬 ぽかぽかあったかかぼちゃしるこ』
(芝崎本実/著 童心社 2015.3)

★p.12-14に「白あんのブッシュ・ド・ノエル」が載っています。クリスマス以外のお菓子もたくさん!

■クリスマスの飾りを作りたい!■

例)『クリスマス・正月の工作図鑑 どんぐりまつぼっくり落花生身近な素材ですぐつくれる』(岩藤しおい/著 いかだ社 2007.11)

クリスマスに関する疑問、知りたいことを調べるのに参考にしてほしい本を紹介してきました。

お子さんに何か聞かれて、わからない、説明が難しい、そんな時はどうされていますか？
スマートフォンで、インターネットで調べる方が多いと思います。
確かに便利ですね。

でもインターネットの情報は、最新の情報を知ることができる反面、だれが書いたのかわからないものが多く、信頼できる情報を選ぶのが難しいもの。

そんな時は知りたい分野の事典を見てみてください。お正月について調べるなら、

例)『日本の心を伝える年中行事事典』(野本寛一/編 岩崎書店 2013.11)

などがあります。

分野がわかりにくければ、『**百科事典**』の出番です。



『百科事典』は、それぞれの項目ごとに専門知識が集まったとても贅沢な資料です。

一所懸命調べたことは、知識として身につきます。

スマートフォンの前に、『事典』を使って調べてみてください!

クリスマス、お正月、こういった行事のある時は、**図書館**で**展示コーナー**ができてい
ることが多いです。お買い物のついでに、少し図書館で暖まりつつ、本を読んでみませんか？